

＜感想＞ 平成 21 年 8 月 31 日～9 月 4 日に東京で開催された、『19th

Ozone World Congress & Exhibition』（International Ozone Association 主催）に出席し、口頭発表を行いました。5 日間に渡って 19 のセッションが開かれ、300 人以上の研究者が参加し、積極的な議論がかわされました。

私は、Byproducts and Control セッションにおいて、『Behaviors of Halogenated Compounds during Pre-chlorine, Ozone and Post-chlorine Treatment』という題目で発表を行いました。英語での発表ということで緊張しましたが、今回発表できたことはとても貴重な経験となりました。15 分という限られた発表時間でしたので、研究の全体像が分かるよう、有機ハロゲン化合物、臭化物イオン、臭素酸イオンといった項目に焦点を絞り、発表を行いました。質疑応答では、海外の研究者の方から、有機ハロゲン化合物の中でも、トリハロメタンの挙動を知りたいということで細かい部分まで質問をしていただきました。自分の研究に興味を持ってもらえたことが、とても嬉しく、自信を持つことができました。また、その方とは連絡先を交換し、研究についてメールで交流が続いています。

Industrial Application セッションにおいて、洗濯におけるオゾンの利用について幾つかの発表がなされ、とても興味深く聴講しました。オゾンを利用することで、節電、節水、低コスト化、消毒等の効果を得ることができます。もともとは、浄水や下水、工場廃水でオゾンが利用されてきましたが、私たちにより身近である洗濯に、実際にオゾン処理が応用されており、今後のオゾン処理の展開を考える上で、とても役立つ例であると感じました。

今回、京都大学土木会より助成金を得て本会議に出席し、多くの研究者と交流し、議論できたことは、非常にありがたく、また、貴重な経験となりました。改めて深く感謝申し上げます。この経験を、今後の研究に役立てていきたいと思えます。